

# 甲斐市立竜王東小学校 学校関係者評価書

令和8年2月13日(金)

甲斐市立竜王東小学校 学校関係者評価委員会作成

## 学校関係者評価委員会

実施日：令和8年2月13日(金)

参加者：学校運営協議会 会長 山本由美子 副会長 清水 勉

学校運営協議会 委員 加藤富美子 石田冬子 土屋 翼

学校側 校長 飯塚正規 教頭 久保田亜希子 教務主任 上田真也

### I 学校側から提案された内容

- 1 教職員自己評価の達成状況について
- 2 改善策について
- 3 まとめ

### II 協議された主な内容

- 1 地域との連携を深める活動について
- 2 学校の特色を生かした活動について

## 〈学校関係者評価書〉

### I 全体評価

- 教職員自己評価では、多くの項目において肯定的評価(Aとてもそう思う・Bそう思う)が90%以上を占め、特に学校教育目標や学校経営方針に関する項目では、肯定的評価が95%に達していた。これは、校長の示す学校経営方針が教職員に浸透し、組織的な学校運営が機能している成果だと考える。
- 児童アンケートと保護者アンケートの結果についても、多くの項目で肯定的評価になっている。特に、児童アンケートの「学校は楽しいですか」「先生はよく勉強を教えてくださいか」の肯定意見が90%以上となり、多くの児童が学校生活に満足している状況であることが確認できた。また、保護者アンケートの「お子さんにとって学校は楽しいところですか」「学校は熱心に授業に取り組んでいますか」の肯定的評価が86%以上であることから、本校が掲げる「安心・安全・安定」の学校運営・教育活動が適正に行われ、保護者から一定の理解が得られていると考える。
- 社会が変化する中で、児童を取り巻く環境も変わってきていることに心配を感じることがあったが、評価結果を見て、児童が学校生活を楽しんでいる様子がわかり、安心することができた。学校評価という形で、学校の取組に、児童の意見を反映させる仕組みができていていることがよい。

### II 特徴

- 学習指導については、教職員自己評価の「児童の学びの意欲を喚起する授業を行っている」という項目において、肯定的評価が95%を占め、授業改善や教材研究に積極的に取り組んできた様子がうかがえる。児童アンケートの「先生は勉強

を教えてくれる」という項目で、肯定的評価が98%と高い中でも、「A・よく教えてくれる」と回答している児童が70%を超えている。また、「国語の授業の内容がわかる」「算数の授業の内容がわかる」という項目で、肯定的評価が90%を超えていることから、教職員が児童一人一人を取り残すことがないように努力していることも明らかになった。

- 生徒指導については、教職員自己評価の児童理解やいじめ・不登校への対応について、肯定的評価が約90%と高い評価が見られた。保護者アンケートにおいても学校生活を肯定的にとらえる割合が高く、一定の信頼が得られている。児童アンケートでは、「学校が楽しい」という項目で、肯定的評価が90%を超えているものの9%の児童は不安や悩みを抱えていることもわかった。教職員は、日常的な観察や声かけを大切にし、児童の不安や悩みを早期に把握できる体制を強化するとともに、関係機関との連携を継続し、安心して学校生活を送ることができる環境づくりを進めていく。
- 地域との連携については、学校ボランティアとしての活動に加えて、今年度は、地域住民の有志グループから地域をよりよくする活動について話してもらった等の活動が増え、保護者や地域住民が積極的にかかわる取組が増えている。
- 学校の特色である児童の主体性を伸ばす取組として、ノーチャイムやたてわり活動を通じた指導に力を入れてきた。その成果として、児童アンケートにおいて、「決まりや約束ごとを守る」という項目で、肯定的評価が85%を超えており、自分で考えて行動する意識が高い結果となった。

## II 今後の課題として意識されたいこと

- 学習指導について、保護者の中には、教職員がどのように指導しているのかが伝わっていない現状があるので、わかるようになったことやできるようになった喜びを、児童が保護者に伝えられるようになるとよい。
- 地域住民が学校へ足を運ぶ機会があると、児童の様子を確認することができて、連携を深めることができるのではないかと。見守りボランティアをしていると、下校してくる児童とハイタッチすることが楽しみだという話が出ている。読み聞かせボランティアに参加すると楽しい等、良かった例を話しながら勧誘すると、ボランティアに興味をもってくれる人が増えることを実感している。地域との連携を深めるために、人と人のつながりや、人から人への広がり大切にするとよい。回覧板だと、読まない人もいるかもしれない。
- 学校の特色として、上級生が下級生の安全を思いやって登校する姿が印象深い。この光景を受け継いでいってほしい。

### ※特記事項

- 富新会の中込さんを学校運営協議会委員に加えることが承認された。
- 地域ボランティアの拡大、ことぶき勸学院とコラボした交流活動を実施する。

